

とちぎの里づくり シンポジウム

栃木県の面積の約 5 割を占めると言われている中山間地域。豊かな自然や美しい農村景観が広がる一方で、人口の減少や高齢化が進みつつあります。本シンポジウムでは、近年全国的に見られるようになった「田園回帰」の人の動きや、地域の新たな魅力を創り地域活動を支える地域運営組織に着目して、栃木県の中山間地域の未来を展望します。

日時 10月8日(土)
13:00~16:30

会場 宇都宮大学峰キャンパス
5B11 教室 (宇都宮市峰町 350)

参加費 無料
定員 50名

趣旨説明

宇都宮大学地域デザイン科学部 教授 高橋 俊守

★第 1 部：基調講演 13:10~14:30

「田園回帰」と「地域運営組織」が未来を切り拓く

一般社団法人農山漁村文化協会 編集部 甲斐 良治



【講師プロフィール】

1955年宮崎県高千穂町生まれ。九州大学経済学部卒業。一般社団法人農山漁村文化協会（農文協）編集局元次長。『季刊地域』元編集長。1999年、『定年帰農』『田園住宅』『田園就職』『帰農時代』の「増刊現代農業・帰農4部作」で農業ジャーナリスト賞受賞。若者たちの新しい農的生き方や「地元学」による地域づくり、両者が結びつく地域運営組織のあり方に強い関心をもつ。明治大学農学部元客員教授、現NPO法人地球緑化センター理事、同中山間地域フォーラム理事、同自伐林業推進協会理事。

★第 2 部：パネルディスカッション 14:45~16:30

「人が集う、人が生きる」中山間地域の魅力を創る

有限会社ネイチャープラネット 代表取締役

坂内 剛至

あきやま有機農村未来塾 事務局長

関塚 学

金沢大学地域連携推進センター 准教授

蜂屋 大八

コーディネーター：宇都宮大学地域デザイン科学部 教授

高橋 俊守

☆申込不要☆ 問合せ先：宇都宮大学地域デザイン科学部 TEL. 028-689-6233